

さらに**出力**機能に対応



TREND-POINT

革新的な3D表示技術で、新たな分野にも。

TREND-POINT Ver.12では、「3D Gaussian Splatting」(3DGS)による写実的な表示、点群と写真の重畳表示、点群の球体表示に対応。建設現場における計画や計測、記録業務の精度向上に加え、維持管理や災害記録、遺跡調査、文化財デジタルアーカイブなど、点群データを視覚的に活用できる新たな分野への提案を推進します。



多彩な表現で可能性が広がる! TREND-POINT Ver.12

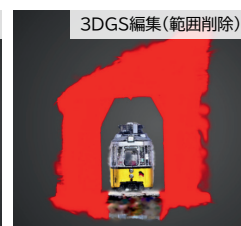
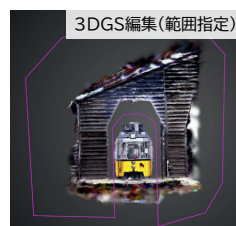
●3D Gaussian Splatting(3DGS)※1

2025年10月に、3DGSの読み込み機能として高い評価をいただいていた本機能が、さらに進化しました。

これまで「TREND-POINT」内にとどまっていた活用範囲を拡張し、3DGSデータをPLY形式にて出力に対応できるようになりました。これに合わせて3DGSデータの入力も対応フォーマットを追加(PLY/SOG/SPZ/LCC/SPLAT)しており、調査・測量・設計・施工の各フェーズ間におけるデータ流通が円滑化されます。

(※1)オプションプログラム:3D Gaussian Splatting入力および出力が必要です。

また、3DGSデータはLiDARSLAM機器やモバイルアプリ等で生成されるものであり、対応機種につきましては各メーカーまたは販売店にお問い合わせください。



協力: 福井鉄道株式会社

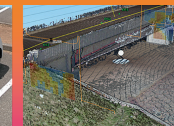
美しい3DGSを
ダウンロードして体験!

TREND-POINT

Q 検索



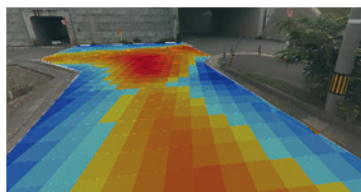
https://const.fukuicompu.co.jp/download/tp_viewer/index.html



TREND-POINTをお持ちでない方でも点群データの閲覧、計測などが行える表示専用のプログラムを、上記サンプルとセットでダウンロードしていただけます。(点群の編集やデータ出力などは行えません)

●点群と写真の重畳

レーザースキャナーやLiDAR SLAMなど、スキャニングと同時に取得するパノラマ写真(E57ファイル等)を取り込み、点群と写真の重畳表示に対応しました。正確な座標を持つ点群に、細部の視認性が高い写真画像を重ねて表示することができます。

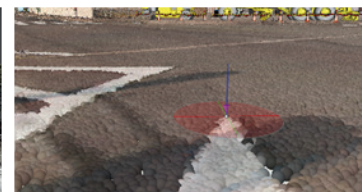


●注釈への情報付加

視認性が向上する新たな点群表示機能に加え、点群上に追記できる注釈に写真や動画(360°パノラマ含む)、PDFファイルを登録できる機能を追加しました。注釈から詳細情報をすぐに取り出せるため、第三者への説明等において現場状況をより詳細に伝えることができ、スムーズな合意形成を支援します。

●点群の球体表示

通常点群は小さなドットで表示され、対象物を拡大表示するほど点群間の空白部分が広がるため、形状や色彩の把握が難しくなります。これを補うため、点群を中心に球体として表現する機能を追加し、拡大時の視認性を向上します。



●出来形ヒートマップのAR出力

令和7年度の3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)に記載されている「デジタル技術(AR等)を用いた出来形立会確認」では、面管理を実施する工程での出来形立ち合い確認において、従来の紙資料を用いた方法からARを活用した方法が認められるようになりました。このことから、出来形ヒートマップをARデータセット(FBXや専用フォーマット)としてダイレクトに出力できる機能を追加しました。

